SONY®

2-698-600-**04**(1)

ポータブルステレオ
トランスミッター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Bluetooth®

TMR-BT10

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

↓

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

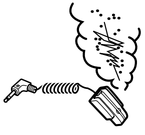
1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡ **❶ 電源を切る**
❷ ACパワーアダプターで充電中の場合は、コンセントから抜く
❸ ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意　火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　接触禁止
分解禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示　プラグをコンセントから抜く

目次

準備

操作

その他

⚠危険　火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

指定以外のACパワーアダプターを使わない

充電するときは、必ず指定のACパワーアダプターを使用してください。
破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止

火の中に入れない

禁止

分解しない

故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止



火のそばや炎天下などで充電したり放置しない

禁止

⚠警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**やけど**や**大けが**の原因となります。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転中は操作しない。
- 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では別売りのヘッドセットなどを使わないでください。

禁止



⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止



この製品を海外で使用しない

ACパワーアダプターは、日本国内専用です。

交流100 Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

指示



雷が鳴りだしたら、充電端子やACパワーアダプターに触れない

感電の原因となります。

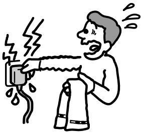
接触禁止



ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

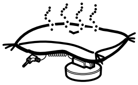
ぬれ手禁止



本体や充電スタンド、ACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止



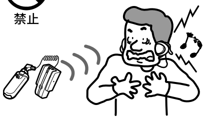
次のページにつづく

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。別売りのヘッドセットなどをご使用の場合は、耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。受信機側のボリュームは徐々に上げましょう。

禁止

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

本機を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

禁止

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

注意

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

長時間使用しないときはACパワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険　充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告　充電式電池について

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意　日本国内での充電式電池の廃棄について

Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページhttp://www.jbrc.net/hp/contents/index.html/を参照してください。

BLUETOOTH機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4FH1

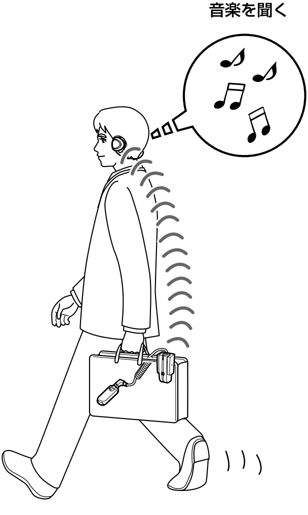
この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

こんなことができます

本機は、BLUETOOTH(ブルートゥース)®ワイヤレステクノロジーを利用した、ポータブルステレオトランスミッターです。
ポータブルオーディオ機器と本機を組み合わせ、BLUETOOTH対応受信機*（ヘッドセット、カーステレオ、スピーカー、ステレオミニコンポなど）にオーディオ信号を伝送することで、ワイヤレスで音楽を楽しむことができます。

BLUETOOTH技術について詳しくは、23ページをご覧ください。

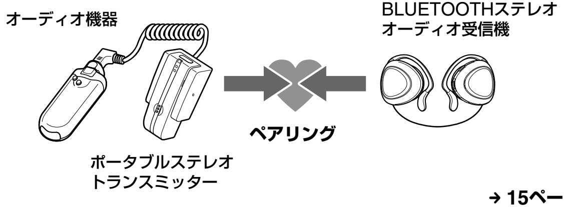


* 接続するBLUETOOTH機器が、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）に対応している必要があります。

BLUETOOTH機器基本操作の流れ

ペアリングする

音楽受信に対応したBLUETOOTH機器と本機を、接続相手として登録します。一度ペアリングすれば、次回からペアリングする必要はありません。



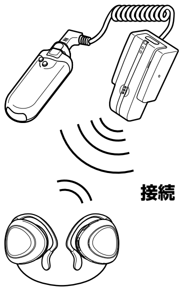
→ 15ページ

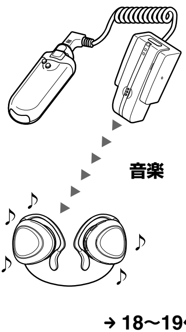
BLUETOOTH接続する

本機の電源を入れると、自動的にペアリングしたBLUETOOTHステレオオーディオ受信機とBLUETOOTH接続します。

音楽を聞く

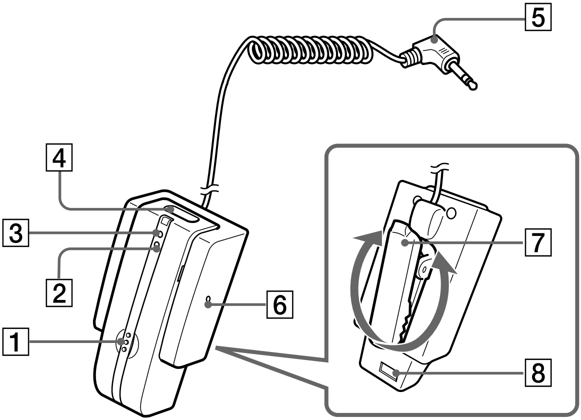
本機に接続したオーディオ機器から再生した音楽をBLUETOOTHワイヤレスオーディオ受信機へ送信し、音楽を楽しむことができます。





→ 18〜19ページ

各部のなまえと働き



1 **初期化ボタン**

2 **ランプ（赤）**
本機の電源状態を表示します。

3 **ランプ（青）**
本機の通信状態を表示します。

4 **POWER（電源）ボタン**（パワー）

5 **オーディオインプラグ（金メッキL型ステレオミニプラグ）**
ポータブルオーディオ機器などのヘッドホン端子に接続します。

6 **RESETボタン**（リセット）

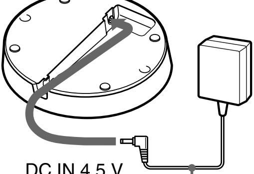
7 **ホルダークリップ**
ホルダークリップをお好みの角度に回転させて、ポケットや襟などにとめる事ができます。

8 **充電端子**

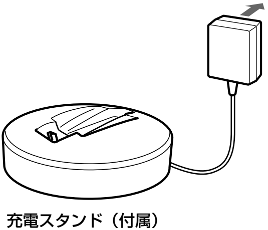
本機を充電する

本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。充電してからお使いください。

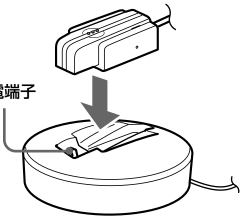
1 付属のACパワーアダプターと充電スタンドを接続する。



2 付属のACパワーアダプターを、電源コンセントに接続する。



3 本機を充電スタンドの上にのせる。



ご注意

ホルダークリップが回転していると充電スタンドに本機を正しくのせることができず、充電が開始されません。充電を開始する前に、ホルダークリップを充電スタンドのみぞと合う位置に戻してください。

本機と充電スタンドの充電端子を接続します。
本機に充電端子が接続されるとランプ（赤）が点灯します。
充電は、約3時間*で完了し、ランプ（赤）は自動的に消灯します。

* 電池残量がない状態から、満充電するのにかかる時間

ヒント

本機の電源が入っているときにACパワーアダプターを電源コンセントにつなぐと、本機の電源は自動的に切れます。

次のページにつづく

警告

本機は以下の原因などにより、充電中に異常を検知すると、充電が完了していなくてもランプ（赤）が消灯することがあります。

– 動作保証温度範囲（0 ℃～40 ℃）を超える場合
– 充電式電池に問題がある場合

この場合、もう一度上記の温度範囲で充電を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

ご注意

- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。
- 使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電式電池の寿命と考えられます。充電式電池の交換については、お買い上げ店またはソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、霧、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- 付属のACパワーアダプターは本機専用です。他のACパワーアダプターは使用しないでください。

使用可能時間*

本機の状態	使用可能時間
音楽再生時間	最大11時間

* 周囲の温度や使用状態により、上記の使用可能時間と異なる場合があります。

充電式電池の残量を確認する

本機の電源が入っているときにPOWERボタンを押すと、ランプ（赤）が点滅します。ランプ（赤）が点滅した回数で、充電式電池の残量を確認できます。

ランプ（赤）	電池残量
3 回点滅	満
2 回点滅	中
1 回点滅	減　（要充電）

ご注意

本機の電源を入れた直後やペアリングを行っているときは、充電式電池の残量を確認することができません。

残量がほとんどなくなると

ランプ（赤）が自動的にゆっくり点滅します。充電式電池の残量が完全になくなると、本機の電源が自動的に切れます。

ペアリングする

ペアリングとは

BLUETOOTH機器では、あらかじめ、接続しようとする機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。
一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
- 9台以上の機器をペアリングしたとき。
  本機は8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあとに新たな機器をペアリングすると、8台のなかで最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 接続相手の機器から、本機との接続履歴が削除されたとき。
- 本機を初期化したとき。
  すべてのペアリング情報が消去されます。

ご注意

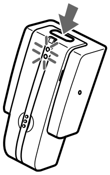
本機のパスコード*は「0000」に設定されています。BLUETOOTH受信機のパスコードが「0000」以外に設定されていると、本機とペアリングすることができません。

* パスコードは、パスキー、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ペアリングの手順

1 相手側BLUETOOTH機器を、本機の1 m以内に置く。

2 本機の電源がオフの状態でPOWERボタンを 7 秒以上押し続け、ペアリングモードにする。



お買い上げ時や初期化後に初めてお使いになるときは本機にペアリング情報がないため、電源を入れると自動的にペアリング状態になります。

ご注意

- 約3秒後に本機の電源が入り、ランプ（青）とランプ（赤）が、同時に2回点滅しますが、POWERボタンを放さないでください。両方のランプが同時に点滅を開始したら、POWERボタンを放してください。
- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、本機のペアリングモードは解除され、電源が切れます。この場合は、もう一度手順**1**から操作を行ってください。

次のページにつづく

3 相手側BLUETOOTH機器でペアリング操作を行い、本機を検索する。

本機はペアリングモードを開始すると、自動的に相手側BLUETOOTH機器を検索します。また、ペアリングが完了すると自動的にBLUETOOTH接続を開始します。
ランプ（青）がゆっくりとした点滅に変ったら、ペアリングの完了です。本機に相手側BLUETOOTH機器とのペアリング情報が登録されます。

ご注意

- 相手側BLUETOOTH機器の画面でパスコードの入力を要求された場合は、「0000」を入力してください。
- 相手側BLUETOOTH機器によっては、ペアリングが完了すると画面に「登録完了」などと表示される場合があります。
- 相手側BLUETOOTH機器によっては、ペアリングが完了すると自動的に本機とBLUETOOTH接続した状態になる場合があります。

ヒント

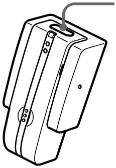
- 複数のBLUETOOTH 機器とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順**1**～**3**を繰り返してください。
- 本機とペアリングしたBLUETOOTH機器の情報をすべて削除するには、「本機を初期化する」（25ページ）をご覧ください。

BLUETOOTH機能のランプ表示

B :ランプ（青）
R :ランプ（赤）

状態			点滅パターン
ペアリング		B	● – ● – ● – ● – ● – ● – ● – ● – …
		R	● – ● – ● – ● – ● – ● – ● – ● – …
接続動作		B	● – – ● – – ● – – ● – – ● – – ●…
		R	—
接続済み	音楽再生時	B	●● – – – – – – – – ●● – – – – …
		R	—
	相手側 BLUETOOTH 機器による 音楽停止時	B	● – – – – – – – – – ● – – – – – …
		R	—

音楽を聞く

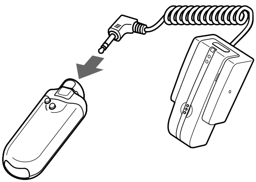


機器の操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。

– 本機と受信側BLUETOOTH機器のペアリングが完了している。
– 受信側BLUETOOTH機器が接続可能な状態になっている。
– 受信側BLUETOOTH機器が音楽送信機能に対応している（プロファイル：A2DP*）。

* プロファイルについて詳しくは、23ページをご覧ください。

1 本機のオーディオインプラグをオーディオ機器のヘッドホン端子へ接続する。



ご注意

オーディオ機器などに本機を接続するときは、必ずヘッドホン端子へ接続してください。オーディオ機器のLINE OUT端子に接続すると音がひずむ場合があります。

2 オーディオ機器の電源を入れる。

3 本機の電源がオフの状態で、POWERボタンを約3秒間押し続ける。

ランプ（青）とランプ（赤）が同時に2回点滅し、電源が入ります。電源が入ると、受信側BLUETOOTH機器へ自動的に接続します。

ご注意

- POWERボタンを7秒以上押し続けると、本機がペアリングモードになります。
- 本機と使用する受信側BLUETOOTH機器をBLUETOOTH接続する場合は、ほかのBLUETOOTH機器を近づけないでください。正しくBLUETOOTH接続できない場合があります。
- 本機と受信側BLUETOOTH機器が正しくBLUETOOTH接続できない場合は、受信側BLUETOOTH機器から本機へ接続してください。それでも正しくBLUETOOTH接続できない場合は、もう一度ペアリング（15ページ）をしてください。

ヒント

- 本機が受信側BLUETOOTH機器を検索している間は、ランプ（青）が点滅し続けます。
- 本機に複数のペアリング情報が登録されている場合は、最近接続したことのある機器の2台を優先して検索します。

- 本機は受信側BLUETOOTH機器へのBLUETOOTH接続を、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)*で行います。
- 受信側BLUETOOTH機器の操作について詳しくは、付属の取扱説明書を参照してください。

* プロファイルについて詳しくは、23ページをご覧ください。

4 本機に接続したオーディオ機器の再生を始める。

ご注意

- 受信側BLUETOOTH機器から音がひずんで聞こえる場合は、オーディオ機器の音量を下げてください。
- 受信側BLUETOOTH機器から雑音が聞こえる場合は、オーディオ機器の音量を上げてください。
- オーディオ機器などのバスブースト機能やイコライザー機能は解除してください。これらの機能が使用されている場合は、音がひずむ原因となることがあります。

ヒント

- 音量操作は、オーディオ機器の音量をひずまない程度に音量を上げてから、受信側BLUETOOTH機器で聞きやすい音量となるように調節してください。
- 本機がかばんの中などにある場合は、BLUETOOTH接続の状態が悪くなることがありますので、クリップを使ってかばんの縁などに固定してください。

ご注意

- 本機はA2DPのみ対応しています。
  受信側BLUETOOTH機器がAVRCPプロファイルに対応していても、本機で受信側BLUETOOTH機器を操作することはできません。
- 以下の場合、もう一度BLUETOOTH接続をする必要があります。
  - 本機の電源が切れている。
  - 受信側BLUETOOTH機器の電源が切れている、またはBLUETOOTH機能が無効になっている。
  - 本機または受信側BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能がスリープ状態になっている。
  - BLUETOOTH接続が切断されている。

使い終わるには

1 受信側BLUETOOTH機器を操作して、BLUETOOTH接続を切断する。

2 本機のPOWERボタンを約3秒間押し続ける。

ランプ（青）とランプ（赤）が同時に点灯し、本機の電源が切れます。

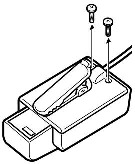
ヒント

受信側BLUETOOTH機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBLUETOOTH接続を切断する場合があります。

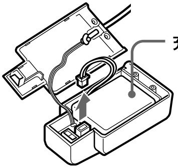
本機を廃棄する

本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。
環境保全のために、本機を廃棄する際は、充電式電池を取りはずし適切に廃棄してください。

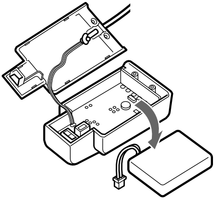
1 本機裏面のネジを2か所はずす。



2 本機を開き、コネクタを引き抜く。



3 充電式電池を取りはずす。



使用上のご注意

BLUETOOTH通信について

- BLUETOOTH無線技術ではおよそ10 m程度までの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- アンテナは本機に内蔵されています。接続するBLUETOOTH機器を本機の近くに置くことで、BLUETOOTH通信の感度は向上します。
- BLUETOOTH通信は以下の状況において、通信感度に影響を及ぼすことがあります。
  - 本機とBLUETOOTH機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
  - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
- BLUETOOTH機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - 本機とほかのBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
  - 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
  - 本機とBLUETOOTH機器をできるだけ近付ける。
- BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびほかのBLUETOOTH機器の電源を切ってください。
  - 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
  - 自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、BLUETOOTH技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH技術を使用した通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBLUETOOTH機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
  - 接続するBLUETOOTH機能対応機器は、BLUETOOTH SIGの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - 接続する機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

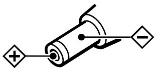
次のページにつづく

車内で使用する場合のご注意

- 本機やオーディオ機器、カーラジオの接続作業および機器操作は、運転中や停車中ではなく安全な場所に駐車してから行ってください。
- 運転中に急ブレーキをかけた際、本機や接続したオーディオ機器が動かないようにしっかりと固定してください。
- 本機の接続ケーブルが、運転操作などの妨げにならないように設置してください。

付属のACパワーアダプターについて

- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  - ACパワーアダプターを棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  - 火災や感電の危険をさけるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶など、水の入ったものを置かないでください。
- 長い間使わないときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。コンセントから抜くときは、コードを引っぱらずに必ずACパワーアダプター本体をつかんで抜いてください。

その他のご注意

- 本機を落としたり、ぶつけたりするなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 本機を分解したり、開けたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所
  - ほこりの多い所
  - ぐらついた台の上や傾いた所
  - 振動の多い所
  - 風呂場など、湿気の多い所
  - 車内など直射日光の当たる場所
- 小さなお子さまには、使用させないでください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- 他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

BLUETOOTH技術について

BLUETOOTH無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使う*こともあります。

無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

BLUETOOTH規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

* 本機では、一度に複数のBLUETOOTH機器を接続することはできません。

BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、BLUETOOTH製品の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBLUETOOTHバージョンとプロファイルに対応しています。

対応BLUETOOTHバージョン：
BLUETOOTH標準規格Ver. 2.0準拠

対応BLUETOOTHプロファイル：
– A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）：高音質な音楽コンテンツを送受信する。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

共通

電源が入らない

➡ 本機を充電する。

➡ 充電中は電源を入れることができません。本機を充電スタンドからはずし、電源を入れる。

通信距離が短い（音声が途切れる）

➡ 無線LANやBLUETOOTH機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れて使用する。

➡ 本機と受信側BLUETOOTH機器との間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除いてください。

➡ 本機と受信側BLUETOOTH機器をできるだけ近付ける。

➡ 本機の位置を変える。

ペアリングできない

➡ 本機と受信側BLUETOOTH機器をなるべく近付けてからペアリングを行う。

BLUETOOTH接続ができない

➡ 本機の電源が入っているか確認する。

➡ 受信側BLUETOOTH機器の電源が入っていて、BLUETOOTH機能が有効になっていることを確認する。

➡ 本機に受信側BLUETOOTH機器との接続履歴が残っていない。
ペアリングが完了したらすぐに、受信側BLUETOOTH機器でBLUETOOTH接続を行う。

➡ 本機または受信側BLUETOOTH機器がスリープ状態になっている。

➡ BLUETOOTH接続が切断されている。もう一度BLUETOOTH接続を開始する。

本機を操作できない

➡ RESETボタンを押す。この操作をしても、ペアリング情報は削除されません。

音楽を聞くとき

音が出ない

➡ 本機とオーディオ機器の接続を確認する。

➡ 本機またはオーディオ機器、受信側BLUETOOTH機器の電源が入っているか確認する。

➡ 無線LANやBLUETOOTH機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れて使用する。

➡ 本機と受信側BLUETOOTH機器が、BLUETOOTH接続されているか確認する。

➡ 受信側BLUETOOTH機器の音量を上げる。
詳しくは、受信側BLUETOOTH機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

➡ オーディオ機器の音量を、音がひずまない程度に上げる。

➡ 本機と受信側BLUETOOTH機器を再度ペアリングする。

音が小さい

- ➡ オーディオ機器の音量を、音がひずまない程度に上げる。
- ➡ 受信側BLUETOOTH機器の音量を上げる。
  詳しくは、受信側BLUETOOTH機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ➡ オーディオインプラグがヘッドホン端子に接続されているか確認する。
  LINE OUT端子に接続すると音がひずむ場合があります。

音がひずむ

- ➡ オーディオ機器の音量を下げる。
  詳しくは、オーディオ機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ➡ オーディオインプラグがヘッドホン端子に接続されているか確認する。
  LINE OUT端子に接続すると音がひずむ場合があります。

以前にBLUETOOTH接続していた受信側BLUETOOTH機器に接続することができない

- ➡ 本機はBLUETOOTH接続の履歴が新しい2つの機器へBLUETOOTH接続を試みます。ペアリング済みの機器とBLUETOOTH接続できない場合は、もう一度ペアリングを行うか、ご使用の受信側BLUETOOTH機器が、BLUETOOTH接続の操作が可能な場合は、受信側BLUETOOTH機器から接続を行ってください。
- ➡ ペアリング情報が削除された。
  もう一度ペアリングしてください。

本機を初期化する

音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべてのペアリング情報を削除します。

1 本機の電源が入っている状態で、POWERボタンを約3秒以上押し続けて本機の電源を切る。

2 POWERボタンと初期化ボタンを同時に7秒以上押し続ける。
ランプ（青）とランプ（赤）が同時に4回点滅し、本機が工場出荷時の設定に戻ります。すべてのペアリング情報が削除されます。

ご注意

初期化するとペアリング情報が削除されるため、初期化後に初めて電源を入れたときは自動的にペアリングモードになります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではポータブルステレオトランスミッターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

概要

通信方式
BLUETOOTH標準規格Ver. 2.0

出力
BLUETOOTH標準規格Power Class 2

使用周波数帯域
2.4 GHz 帯（2.4000 GHz – 2.4835 GHz）

最大通信距離
見通し距離約10 m*1

変調方式
FHSS

対応BLUETOOTHプロファイル*2
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）

対応コーデック*3
SBC*4

音声入力
金メッキL型ステレオミニプラグ × 1

入力インピーダンス
約32 Ω

電源
DC 3.7 V：内蔵リチウムイオン充電式電池

最大外形寸法
約25 × 51 × 29 mm
（幅×高さ×奥行き）

質量
約27 g（コード含む）

*1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
*2 BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH製品の特性ごとに機能を標準化したものです。
*3 音声圧縮変換方式のこと
*4 Subband Codecの略

付属品

ACパワーアダプター（1）
充電スタンド（1）
取扱説明書（本書）（1）
その他印刷物一式

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソニーの相談窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

ホームページで調べるには

➡ AV 関連商品・アクセサリー カスタマーサポートへ
（http://www.sony.co.jp/av-acc）
BLUETOOTHアクセサリー商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

電話・FAX でのお問い合わせは

➡ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）
お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

セット本体に関するご質問時：

- 型名: TMR-BT10
- 製造（シリアル）番号：クリップの裏側に記載
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

接続に関するご質問時

質問の内容によっては、本機に接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ **0120-333-020**
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ **0466-31-2511**

修理相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ **0120-222-330**
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ **0466-31-2531**
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

➡ 左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「309」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in Malaysia

* 2 6 9 8 6 0 0 0 4 * (1)